

開學10周年 追手門學院 記念 創立88周年

昭和51年度総会・祝賀親睦パーティー

同封のハガキで10月31日まで出欠のご都合をおきかせ
願います。

ロイヤル・ルーム
会 費 六、〇〇〇円

と
き
51年11月12日(金) 策内

將軍山會報

発行所
茨木市安威230
追手門学院大学同窓会
将軍山会
(0726-43 5421) 内線88
発行者
常任理事会議長 鶴毅
© 1976
印刷所
内田印刷 K K

將軍山会旗がきまりました

8月早々 本会の全会員に公募し
た将軍山会旗が決定しました。残念
ながら応募作品中に入賞該当作品が
なく 佳作三点にとどまりました。
しかし応募の約七割を越す△紺色△
の地色に白抜きでシンプルなマーク

常任理事会・役員会で選びました。
将軍山会旗は11月12日の祝賀総会
で披露されます。なお佳作入選者は
片岡秀基氏（50・経）湖節夫氏（50
・文）水木茂男氏（50・経）でそ
の方々には近く賞金が送られること
になっています。

將軍山祭

10月23日(土)～10月27日(水)

本年は開学10周年を一区切りとした考え方で、われわれ一同記念すべき大学祭を開催できるよう努力しています。

われわれ大学卒業者で総会が大成功になるよう出席をお願いする次第です。

山桜会長)を迎えて、公開講演会が
10月23日(土)午後1時から大阪の
毎日ホールで行われます。来聴歓迎

時）・24日／激動編／は演武祭（13時）
 時）・野外ステージ（14時）・講演
 会（15時）・ダンスパーティー（17時）・25日は バラエティーショー
 （12時～15時）・野外ステージ（14時）

以上のような催し物をしますので
諸先輩方も学生時代を思い出して
在学生と混じって楽しい一日を過
ごしてみてください。在学生一同は
先輩諸兄姉が母校に帰つてこられる
のを お待ちしております。

昭和50年度將軍山会収支計算書

(50. 4. 1 ~51. 3. 31) 追手門学院大学將軍山会

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
(収入の部)				
終身会費	2,400,000	2,710,000	310,000	預金利息40,154円 ワリニ
受取利息	0	361,454	361,454	一購入割引料321,300円
前受金	2,812,000	6,220,000	3,408,000	
立替金	289,000	289,000	0	
前年度繰越金	1,592,747	1,592,747	0	
収入計	7,093,747	11,173,201	4,079,454	
(支出の部)				
人件費	62,500	62,500	0	5月分アルバイト代 (米沢桂子)
会報印刷費	150,000	155,000	△5,000	5月、11月、5月会報分
その他の印刷費	150,000	190,060	△40,060	会費振込用紙代、封筒代、 原稿用紙外、その他
通信費	270,000	329,497	△59,497	
消耗品費	100,000	54,252	45,748	ゴム印代、ゼロックス使用 料、その他
会議費	100,000	69,100	30,900	5月、9月、11月理事会会議
賃借料	48,732	48,732	0	5月分部屋代(青山産業支 払)
有価証券	5,000,000	5,000,000	0	日本興業銀行ワリコー購入 <将軍山会基金>
未払金	1,026,317	1,010,617	15,700	
予備費	186,198	233,937	△47,739	事務所移転にともなう運送 料、将軍山祭への援助金、 アルバイト代、その他
次年度へ繰越		4,019,506	△4,019,506	
支出計	7,093,747	11,173,201	△4,079,454	

昭和50年度の経理について監査の結果、すべて適正妥当なものと認めます。会計監査 岸本觀次・辻子欣江



51年3月25日卒業式風景とロイヤル・ホテルでのパーティー・スナップ

意気込みでこれからの大歴史を
作つてゆかることを期待してやみ
ません。

開学10周年に想う

人々はよく口にしますがこの平凡な毎日ぐらい大切にしにくいものはないのです。人間の愚かさの一つ

貢近況報告

49 文上原与子
(旧姓)若原主婦

多少の起伏はありましたが坦々と
した四年間だったと思います。味気
ないな と感じたのはただこちらの
受信アンテナが不完全だったことに
原因があるようです。要は自分がほ
んとうに追求してみたいと思うよう
な研究課題にめぐりあえるか否かに
かかっているのだと思います。もち
ろん目的や目標が最初からはつきり
している人はそれに近づく道のりが
短いはずです。実際そういう人も多
いことでしょう。私の場合で多分に
もれず随分回り道をしたようですが
幸いよい師や友に恵まれ自分なりの
目標も決まりさまざまな体験にも邂
逅することができました。これらは
大学生活を送つてゆく上で何ものに
もかえ難い大きなエネルギーになつ
たと今でも信じています。

昭和46年に第二期生として卒業しましてから早くも五年、私は今まであります研究所の仕事をつておりますが今だに仕事の内容にとこめません。といいますのは私が榮えある追大で学んだものは経済学でした。ところが現在は科学なのです。でも小学部から大学まで16年間お世話になった学院生活で教養だけは立派に身についているものと思つております。思い起せば昭和41年 大学が開学したとき私は高等学部三年生でした。翌年 森之宮の会館大ホールで入学式を挙行されてから今年で10周年にもなったという実感はそうありません。といいますのもつい昨日のことのようにはっきり脳裡に焼きついているからです。目崎ゼミで叱られながら通学したこと・卒業試験の結果をドキドキして見たこと・数々の思い出をはつきり覚えております。今後も永くかわることはないでしょう。一口に10周年といつても大変なことですこれから何十周年を積みかねていく土台ですから、在学中もどうでしたが偕行社魂が学生一人一人に目に見えなくとも個人個人に宿つてることを念願しております。

われわれの一日一日を取りだし
みれば 退屈なくらい平凡で取
立て何らの変化もなさそうな時間
連続ですが 考えて見れば その
瞬一瞬の中に 当の本人が気付か
い変化の可能性が潜んでいるので
よう。だから この10年間の歩み
振り返つて見たとき 社会の変化
大きさに驚き 同時にまたその流
の重さと深さを知るのです。平凡
うに見える毎日が いかに大切か
会の運営は理事の方々が顧問を

ではないのです。人間の愚かさの一端で、ようかだから形の上では平凡でも内には豊かな実りある人生を自ら創りだして欲しいと思います。ところで、開学10周年おめでとうございます。この10年間は、理想的な学園を目指し、確実な一步を踏みだすために、大変な努力がはらわれたことだと思います。そして今年で10年目がやっと来ました。この一節を地盤とし、これからも一節、一節太い年輪を培われることを祈つております。

46・文 上原 与子
(旧姓 若原) 主婦
卒業と同時に結婚して早いもので
5年を経過し 現在では4才と2才の
半の男の子の二児の母親になりました。
上の子も追手門学院の幼稚園に
いました。でも二人いますので 下
の子でもお世話になるかも知れない
と思っております。そうなると三代
目 四代目もと願っています。
先日 幼稚園のPTAに出席致しました。
折に 父兄の中には先輩がいらつしてとても懐かしく
の方々とも無性にお逢いしたい気持
ちになりました。でもまだまだ小さい
子供を抱えておりますので 諸々
の集まりには出席できず とても残
念に思っております。今後ともよろ
しくお頼い致します。
46・文卒業の鈴木久実子(旧姓
林)さんは現在 ご主人様の仕事でカナダにお住まいです。S49年に
ご結婚なさって同年 6か月らカナ
ダのオンタリオ湖のすぐそばにお住
まいだそうです。そして今年の4月
に二世があちらで誕生され とても
お幸せとのことです。

山 会

われわれの一日一日を取りだし
みれば 退屈なくらい平凡で 取
立て何らの変化もなさそうな時間
連続ですが 考えて見れば その
瞬一瞬の中に 当の本人が気付か
い変化の可能性が潜んでいるので
よう・だから この10年間の歩み
振り返つて見たとき 社会の変化
大きさに驚き 同時にまたその流
の重さと深さを知るのです・平凡
うに見える毎日が いかに大切か

ではないのです。人間の愚かさの一端でしようか。だから形の上では平凡でも内には豊かな実りある人生を自ら創りだして欲しいと思います。ところで開学10周年おめでとうございます。この10年間は、理想の学園を目指し、確実な一步を踏みだすために、大変な努力がはらわれたことだと思います。そして今年で10年目がやって来ました。この一節を地盤とし、これからも一節一節太い年輪を培われることを祈っています。

え慎重審議のうえ進められ局との協定も円滑に運ばれています。会計面も大切な会費を例えば

卒業と同時に結婚して早いもので5年を経過し、現在では4才となる半の男の子の二児の母親になりました。上の子も追手門学院の幼稚園にて育てられていましたが、何分にも遠くて諦め、教育大の附属幼稚園に入園致しました。でも二人いますので、下の子でもお世話になるかも知れないと思つております。そうなると三代目四代目もと願っています。

先日 幼稚園のPTAに出席致しました折に、父兄の中には先輩がいらっしゃつてとても懐かしく、同年輩の方々とも無性にお逢いしたい気持になりました。でもまだまだ小さい子供を抱えておりますので、諸々

卒業生のみで運営されていた将

会の事務処理のうち会計面について
50年度より大学事務局が協力することになり
開学当時より会計課務していた私が委嘱を受け、今
月に退職するまで担当させていました。
最初は仕事が増すばかりで有難いと思っていましたが、毎日の
熱心な努力と奉仕の姿に接して、
打たれ微力ながら協力しな
はと思うようになりました。

ではないのです 人間の愚かさの一端
でも内には豊かな実りある人生を
自ら創りだして欲しいと思います。
ところで 開学10周年おめでと
うございます。この10年間は 理想
の学園を目指し 確実な一步を踏み
だすために 大変な努力がはらわれ
たことと思います。そして今年で10
年目がやつて来ました。この一節を
地盤とし これからも一節一節
太い年輪を培われることを祈ってお
ります。

46・文 上原 与子
(旧姓 若原) 主婦
卒業と同時に結婚して早いもので
5年を経過し 現在では4才と2才の
半の男の子の二児の母親になりました。
上の子も追手門学院の幼稚園に
いました。でも二人いますので 下
の子でもお世話になるかも知れない
と思っております。そうなると三代
目 四代目もと願っています。
先日 幼稚園のPTAに出席致しました。
折に 父兄の中には先輩がいらつしてとても懐かしく
の方々とも無性にお逢いしたい気持
ちになりました。でもまだまだ小さい
子供を抱えておりますので 諸々
の集まりには出席できず とても残
念に思っております。今後ともよろ
しくお頼い致します。
46・文卒業の鈴木久実子(旧姓
林)さんは現在 ご主人様の仕事でカナダにお住まいです。S49年に
ご結婚なさって同年 6か月らカナ
ダのオンタリオ湖のすぐそばにお住
まいだそうです。そして今年の4月
に2世があちらで誕生され とても
お幸せとのことです。

二世があちらで誕生さ